

現代日本学社会分析研究演習 I / 現代日本学演習 III 「現代日本における社会問題の分析」

論文について発表 (1)

田中重人 (東北大学文学部教授)

[テーマ] グループ内のほかの人の選択した論文について内容を説明し、討論。

1 授業内容

各グループで、それぞれの選んできた論文について、事前に打ち合わせておく。各自、自分の選択した論文について資料をつくり、授業開始時まで Google Classroom のストリームに投稿すること。

当日の発表手順は次の通り：

- 説明は、グループ内のほかの人がおこなう (2分)
- そのあと、論文を選択した本人が追加説明 (1分)
- 全体で討論 (10分程度)

報告すべき内容は次の通り：

- 論文の「問い」はなにか、それにどのような「答え」を出しているか、その根拠は何か
- 疑問点や批判など
- 内容を発展させる方向性

2 発表予定文献

2.1 グループ1

- 池田一城, 2015, 「聖地の観光地化とマス・ツーリズム：高野山における交通の発達に伴う聖地空間の再編と役割の変化」『観光研究』26(2): 61-72. <<http://doi.org/10.18979/jitr.26.2.61>>
- 佐藤茂幸, 2011, 「「食」による地域活性化に関する研究：山梨県大月市の郷土料理を事例として」『日本経営診断学会論集』11: 110-116. <<http://doi.org/10.11287/jmda.11.110>>
- 永田尚三・奥見文・坂本真理・佐々木健人・寅屋敷哲也・根来方子, 2012, 「地方公共団体の防災・危機管理体制の標準化についての研究」『社会安全学研究』2: 89-107. <<http://hdl.handle.net/10112/00018556>>

2.2 グループ2

- 長野隆之, 1999, 「柳田國男の民謡研究」『日本歌謡研究』39: 96-108. <http://doi.org/10.34421/kayo.39.0_96>
- 山内祐平, 2003, 「学校と専門家を結ぶ実践共同体のエスノグラフィー」『日本教育工学雑誌』26(4):299-308. <<http://doi.org/10.15077/jmet.26.4.299>>
- 吉岡一志, 2018, 「「妖怪」との出会いからみる「学校の怪談」の現代的意味」『山口県立大学学術情報』11: 103-110. <<http://ypir.lib.yamaguchi-u.ac.jp/yp/1456>>

3 課題 (5/25 まで)

下記のことを調べて、再来週水曜日 (5/25) 12:00 までに提出。

3.1 【課題 1】雑誌の性格について調べる

- (1) 『山口県立大学学術情報』の歴史はどのようなものか。
- (2) 雑誌『デザイン理論』はどこが出版しているか。また、なぜ大阪大学の機関リポジトリが収録しているのか。

3.2 【課題 2】各自の論文で参照されている文献の同定

自分の選んできた論文で参照されている文献を、すべて同定する。ここで「同定」というのは、その文献が入手できる状態になること (図書館の所蔵やオンライン文献の URL がわかる、など) を指す。実際に入手しなくてもよい。

簡単には同定できなかったものについて、つぎのことをまとめる：

- その文献の書誌情報
- 同定に苦労した (または同定できなかった) 原因